

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ 放課後等デイサービス		公表日		令和 7年 3月 18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・法令を遵守した定員数に基づき、スペースを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3	・法令を遵守した配置数を確保しています。 ・送迎中は職員が足りなくなりやすいことがありますが、連携体制を強化し安全を優先した対応を行っています。	・新年度4月以降新採用が決まっています。より充足した人員体制の中で支援の質向上に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・お子様に分かりやすいよう物の置き場所等の構造化、視覚化を推進しています。	・2階にあるため階段のバリアフリーは課題となっています。安全に配慮した対応を検討していきます。 ・より構造化された分かりやすい環境設定に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日消毒、清掃を行い、心地よく過ごせるよう環境整備を行っています。 ・活動やお子様の状態に合わせて2部屋を使い分けるなど工夫しています。	・引き続き心地よく過ごせる空間づくりに努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	・2つに分かれている部屋を、静かに過ごしたい、クールダウンしたいなどのお子様の意思に合わせて使用することができます。	・まれに、人員の配置等の都合で使いたいときに対応が難しいことがあります。可能な限り対応できるよう、検討を重ねます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・日次、月次で職員参加の会議を行っています。その中で目標に対する振り返りを実施しています。	・パート勤務等の職員も参画しやすい環境を整えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・保護者様向け評価アンケートを実施し、保護者様の意向を把握する機会を設け、その結果を職員に周知し改善事項の検討を行っています。	・引き続き機会を設け、より一層満足度につなげられるよう業務改善のサイクルを回していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・日次、月次で職員参加の会議を行っています。心理的安全性の確保に努め、意見を積極的に受け止め業務改善につなげています。	・パート勤務等の職員も参画しやすい環境を整えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・現在はお子様、保護者様と社内の二者評価をとっております。外部による第三者評価は実施しておりませんが、会社内での体制として客観的なスーパーバイズをもらう機会は多く、都度業務改善につなげられています。	・外部による第三者評価は、今後必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・新入社員向けの研修をはじめ、月に2回の社内研修、年に2回の全社研修など、継続的な学びの機会を設けています。	・次年度も、研修体制のさらなる充実を目指し、取り組んでまいります。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・毎月、お子様の状態像やガイドラインに基づくねらいを踏まえて職員間で意見を出し合って作成し保護者様へHP等で公表しております。	・引き続き適切なプログラムを作成し、わかりやすい情報伝達に努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・お子様の支援計画期間ごとにアセスメントを取り、ケース会議を経て支援計画を策定しております。ニーズや課題を、主観に偏らず客観的に分析できるようフォーマルアセスメントも用いながらアセスメントをしています。	・引き続き適切な計画作成に努めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児発管の独断で作成せず、広く職員の共通理解を図りながら作成を行っています。「子どもの最善の利益」は職員間でスローガンとして掲げ、常にその時の祖のお子様の最善の利益を追求する姿勢で支援の検討を行っています。	・引き続き「最善の利益」を追求し支援計画作成に全職員で取り組んでまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・作成した支援計画は職員間で共有を必ず行っています。計画に沿って支援が展開できるよう共通理解を進めています。	・支援計画に沿った質の高い支援を今後より一層充実させていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・職員の主観に偏ることがないよう、「SM社会生活能力検査」「JSI-R」などの標準化されたフォーマルアセスメントツールを実施しています。日々の行動観察をもとに都度支援の検討を行っています。	・引き続きアセスメントの質を向上させ、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・各支援内容からお子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定しております。	・各加算など利用できるサービスを保護者様に周知するとともに、家族支援、移行支援に従事できる職員を増やせるよう教育を行ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・職員の適性を考慮したうえでチームを編成し、プログラムの立案もチームで行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・お子様の「楽しい」「やりたい」を追求したプログラムの立案を目指しております。	・より一層、ねらいを明確化し、満足度の高いプログラムの作成を目指していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・集団活動がメインのプログラムではございますが、その参加の仕方や職員の関わり方は、お子様一人ひとりの特性や状況、計画に基づいて個別化しています。	・引き続き「集団の中での個別的関わり」によって効果的な支援が展開できるよう努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝礼等の時間に支援の内容を確認し、それぞれの役割分担やお子様ごとの配慮事項について共有を行っています。	・パート勤務等の職員も参画しやすい環境を整えます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・記録を記入しながらの情報共有や翌日の申し送り、職員間の共有を行っています。	・パート勤務等の職員も参画しやすい環境を整えます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・お子様の適応行動の状況や日々の行動観察については毎日支援記録をつけています。またそれを踏まえた支援のPDCAを朝礼等で確認しています。	・まだまだ不十分であるように感じる点もあるため、質の向上に一層努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・個別支援計画の更新ごとに見直しを行い、必要に応じて計画修正を行っています。	・引き続き「その時必要な支援」が確実に提供できるよう努めてまいります。

適切な支援の提供	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		・放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動（日常生活の充実と自立支援のための活動・多様な遊びや体験活動・地域交流の活動・子どもが主体的に参画できる活動）」を複数組み合わせた支援を提供しております。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・様々な体験の中で、意思を表出する機会を創出し、お子様の自己決定をサポートする支援を行っています。	・特に小学校高学年～中学生に向けた支援内容を検討し、意思表示・自己決定支援の充実を図りたいと考えております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児発管だけでなく、主にそのお子様の支援に入る職員が同席するなど配慮しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・学校との連携体制は強化しております。また、小児科医のスーパーバイズを受ける機会を定期的に設けています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校との連携体制は強化しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・同じヒトツナの児童発達支援からの進学が多いため、そこからの情報共有は特に徹底しています。	・ヒトツナ以外の事業所や園との情報共有に積極的に務めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・まだ移行したお子様はいませんが、長期的な視点でその時期を見越して情報は整理しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・地域の児発センター開催の連絡会や研修会には積極的に参加させていただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・月に1回地区センターでの教室に計画的に参加しています。	・すべてのお子様に参加し地域交流に参画できるような内容や頻度について今後検討を重ねます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・可能な限り参加させていただいております。	・参加する職員がいるものの、すべての職員にその活動内容を周知できていないため、重点的に改善に取り組みます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日々の支援記録の公開、送迎時の申し送り、面談時の現状の共通理解等を通じて、保護者様との連携に努めております。	・保護者様によりご満足いただけるようより一層の情報共有に努めていきます。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・2024年度実施実績がございます。次年度も開催予定です。	・実施機会はあったものの、内容や頻度はまだまだ向上の余地があると感じております。参加しやすい環境整備とともに、より一層の充実を図ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に丁寧な説明に努めています。	・新年度以降改めて周知を図るなど分かりやすい情報共有を推進してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・ニーズを踏まえて、子どもの最善の利益を第一に考えた計画作成に努めています。	・保護者様だけでなくお子様自身の意思を確認する機会をより設けていきたいと考えております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・計画に基づいた支援の説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・半年に一度の支援計画面談に加え、ご家族様のお悩みに応じて随時面談機会を設定しています。	・よりご満足いただける機会になるよう、質の向上のための学びを重ねてまいります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	・2024年度保護者会実施実績がございます。 横のつながりからピアサポートに繋がるような支援機会を今後も設けていきます。	・きょうだい児支援は今後の課題として必要に応じて積極的に検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情受付担当者、解決責任者を選任し適切な対応体制を整えております。苦情があった場合は迅速に解決に向けて動いております。	・保護者様へも体制の周知を改めて行い、誠実に丁寧に対応できるよう一層努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・HP、SNS等積極的に更新を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付き書庫内での保管、シュレッダー処理など十分に留意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的な情報提供やLINE、電話、連絡ツール、書面などを使い分け合理的配慮を推進しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・「ヒトツナパーク」等の取り組みを通じて地域に根差した事業所運営を目指しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・各種マニュアルは策定し契約時にご説明をさせていただいております。訓練も法令に基づき定期的に行っております。	・策定を行っているものご家族様への周知が不十分である点もあるため、より安心して通っていただけるよう周知徹底を図ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを策定しそれに基づいた訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に必ず確認し周知しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に必ず確認し周知しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・安全計画に基づいた取り組みを行っております。実施内容については連絡ツールやSNS等で周知を図っています。	・ご家族様への周知が不十分な点があるため、周知の仕方について見直しを行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットは必ず共有し再発防止に向けて迅速に動いております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止に関わる責任者を選任し、虐待防止委員会の開催、虐待防止研修の実施を必ず行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・身体拘束に関する検討は必ず行っております。必要に応じて計画への記載も行っております。	